大阪ガス

取扱説明書
ガス温水床暖房ヌック「はやわざ」

このたびは、弊社商品をご購入いただき、誠に有り難うございます。
ご使用の前に、本書を良くお読みの上、良い状態で末永くお使いください。
また本書中の安全に関する重要な内容については、必ずお守りください。

誤った取扱をされた時に、死亡や重傷など重大な結果に結びつく可能性が大きいものに「⚠警告」のマークを、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があるものに「⚠注意」のマークを記載しております。
使用時にいつでも読むことができる場所に必ず保管をお願い致します。

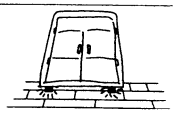
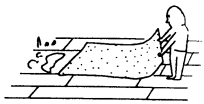
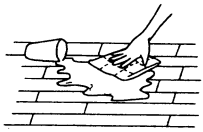
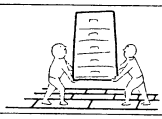
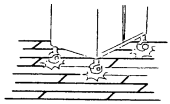
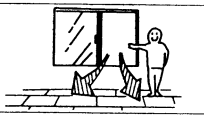
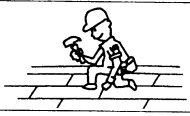
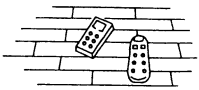
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が負傷する可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
⊘	絶対に行わないで下さい。

使用上の注意　警告・注意 …… 2P～4P
故障かな?と思ったら …… 5P
（次のような現象は故障ではありません）
性能に関するご注意 …… 6P
日常のお手入れ方法 …… 7P

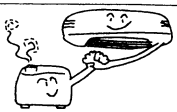
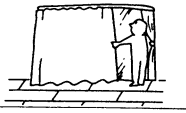
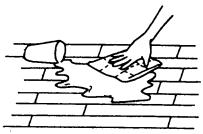
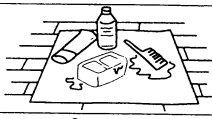
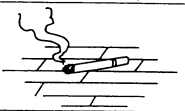
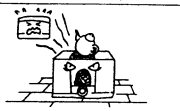
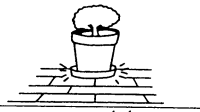
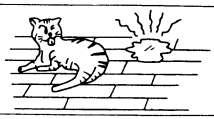
使用上の注意　警告・注意

項目	内容	
警告	●床面で灯油などこぼさない・扱わない	■床に灯油、ベンジン、マニュキュア、アルコール、水、薬品、醤油、ペットなどの排泄物などをこぼさないで下さい。こぼした場合には床仕上げ材、床暖房パネルは変色など品質を損なう恐れがありますので、速やかに乾いた雑巾で拭き取って下さい。
警告	●低温やけどの恐れあり	■床暖房中床面に長時間座ったり、寝そべると比較的低い温度でも皮ふ傷害を起こす危険があります。特に病人・高齢者・乳幼児・皮ふの弱い方などには、ご家族の方が十分にご注意下さい。
警告	●床暖房の上にスプレー缶、ライター等を置かない	■熱でスプレー缶内の圧力が上がり、破裂する恐れがあります。
警告	●リモコンに水をかけたり濡れた手で操作しない	■感電の恐れがあります。 ■故障の原因となります。 ※リモコンをお掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。変形する場合があります。乾いた布等で拭き取って下さい。
警告	●リモコンは自分で分解、修理、改造等は行わない。	■発火したり、感電の恐れがあります。
注意	●床へは物を刺さない	■床暖房を設置している床に、突起物（釘・画びょう・きり・裁縫針・ダニ防虫剤の注射針・はさみ・包丁等）を刺したりしないで下さい。水漏れの原因となります。
注意	●床へは衝撃を加えない	■床が破損し、水漏れの恐れがあります。
注意	●床下防腐、防蟻処理等をされるときにはご注意を	■床暖房および配管類に処理剤が付着すると処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなることがありますので、付着させないようにして下さい。
注意	●重いものはそのまま置かない	■ピアノなど重量物にはパッド等の緩衝材を敷いて集中した荷重がかからないよう設置して下さい。床が破損し、水漏れの恐れがあります。
注意	●床仕上げ材の上に敷かない	■カーペット、ゴザ等の敷ものを敷かないで下さい、性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、床仕上げ材がひび割れ、変形、収縮、変色等の不具合が生じることがあります。

使用上の注意　警告・注意

項目	内容	
注意 ⊘ ●家具等を直接床に置かない	■床暖房の上に、調度品、家具などを直接置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生する恐れがあります。床表面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないように配慮して下さい。	
注意 ⊘ ●ホットカーペットやこたつなどとの併用はしない	■床暖房の熱がこもって床仕上げ材がひび割れ、変色、収縮等の不具合が生じることがあります。	
注意 ⊘ ●床に水がこぼれたら速やかにふきとる	■次のようなものをこぼした場合には床仕上げ材、床暖房パネルの変色など品質を損なう場合がありますので速やかに乾いた雑巾で拭き取って下さい。（水、薬品、醤油、汁物、ペットなどの排泄物等） ■常時、水の飛び散る台所や洗面所周辺は、濡れたまま長時間放置しないで下さい。床仕上げ材や床暖房パネルの品質を損なうことがあります。	
注意 ⊘ ●家具は引きずらない	■重たい家具などを動かす場合には、引きずらずに必ず持ち上げて移動するようにして下さい。また、椅子等を引きずりますと床仕上げ材に傷が付きます。床と接触する部分にフェルトなどを貼り付けて保護して下さい。	
注意 ⊘ ●キャスター付きの椅子や家具および車椅子は使用しない	■キャスター付きの椅子や家具および車椅子等の使用は避けて下さい。傷やへこみ、床鳴り等の原因となります。（ハードシリーズ除く） 【注】ハードシリーズについてはP6参照	
注意 ●閉め切ったお部屋で長時間使用しない	■閉め切ったお部屋では、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。接着剤や床仕上げ材が原因（ホルムアルデヒド）のひとつに考えられますので、窓を開放し換気を行って下さい。（床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、床仕上げ材の施工店にご相談下さい）	
注意 ⊘ ●床暖房を他の目的に使用しない	■特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存等）には使わないで下さい。	
●床仕上げ材の貼替え時にはご注意を	■床仕上げ材を貼替える場合には、施工店にお問い合わせ下さい。	
注意 ●床仕上げ材のお手入れの注意	■日常のお手入れ参照……7P	
注意 ●エアコンやテレビ等のリモコンは長時間置かないで下さい	■故障の原因になります。	

使用上の注意　警告・注意

項目		内容	
⚠ 注意	●エアコン等による暖房装置の連続使用をしない	■エアコン等による暖房装置の連続使用により室内が過乾燥になり仕上げ材に隙やひび割れが生じることがあります、乾燥を抑えるために加湿器の併用をお勧めします。	
⚠ 注意	●直射日光に長時間さらさない	■フローリングは直射日光に長時間さらされると日焼けによる変色が生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光を出来るだけ遮って下さい。	
⚠ 注意	●灯油等油類に注意	■灯油等油類をこぼし、しみ込みますと、下地の温水マットが溶解し、床がたわむ場合がありますのですぐに拭き取って下さい。	
⚠ 注意	●毛染剤、家庭用パーマ液、靴墨等に注意	■毛染剤、家庭用パーマ液、靴墨等の汚染はとれません。使用するときは必ず床の上にカバーをして下さい。	
⚠ 警告 ⊘	●火のついたタバコ、アイロンに注意	■火のついたタバコを落としたり、アイロンを倒すと表面が焼け焦げ、火災の恐れがありますのでご注意下さい。また、焦げ跡は一度つくとどれません。タバコのヤニはアルコールを含ませた布で拭き取って下さい。(アートシリーズの場合は表面の化粧シートが熱で収縮します。)	
⚠ 注意	●コントローラーの近くで他の暖房器具を使用しない	■コントローラの近くで他の暖房器具を使用しますと、熱により故障したりコントローラに内蔵された室温センサーが誤作動することがあります。また、直射日光が当たる場所にコントローラーがある場合も同様の可能性がありますので、カーテン等で日光を遮って下さい。	
⚠ 注意	●植木鉢やプランターの下には必ず皿を敷く	■植木鉢やプランターの下には必ず皿を敷いて、水がフローリングの上に流れないようにして下さい。水が流れるとフローリング表面に、変色やヒビワレが生じる恐れがあります。	
⚠ 注意	●家庭用ベンジン等で拭き取る	■クレヨン、絵の具の落書きはシミにならないうちに家庭用ベンジン等で拭き取って下さい。	
⚠ 注意 ⊘	●直ちにかたく絞った雑巾等で拭き取る	■ペットなどの排泄物をそのまま放置しますと、水をこぼした場合以上に仕上げ材の美観など品質を損なうことがあります。直ちにかたく絞った雑巾できれいに拭き取って下さい。	
	●つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります	■取扱書に記載する「警告」「注意」「お願い」を守らなかった場合に生じる故障及び損傷	

故障かな？と思ったら　■次のような現象は故障ではありません

このようなときには	説明	処置
●床面がなかなか暖まらない	●床面が暖まるには床仕上げ材の種類や外気温度、住宅構造等によって変化し、暖房感が得られるようになるには予熱時間が必要です。 ●床面が適度に暖まるには、住宅事情（床構造、仕上げ材、敷設率等）、外気温度により多少時間差はありますが、約1時間程度かかります。（畳などの場合は約1～2時間） ※床面温度が30℃にならない床仕上げ材もあります。	●あらかじめリモコンでタイマー運転を設定してご使用下さい。（リモコンの設定方法についてはリモコンの運転手順をご確認下さい。）
●床温が上がらない ●室温が上がらない	●室温センサー付きの床暖房リモコンをお使いの方は、リモコンの近くにストーブ等高温になる機器を置かれますと、暖房機能が発揮出来ないことがあります。 ●リモコンに日ざしが直接あたる場合にも暖房性能が発揮出来ないことがあります。	●ストーブ等の暖房機器の位置を変更して下さい。 ●カーテンで遮へいしてご使用下さい。
●床面の暖かさが場所によって違う	●温水床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、パイプのあるところとないところでは床面の温度に若干の差が生じます。	●異常ではありません。
●リモコンの温度設定を変えないのに床の温度が低くなった	＜室温センサー付きの場合＞ ●室温が設定より高い場合には、床面温度を下げて室温調整をしています。	●リモコン設定を上げて下さい。
●床暖房使用中に音がする	●床暖房を使用すると、床面から音がする場合があります。これは、床暖房の熱によってパネル本体および床仕上げ材、床の構造体が膨張・収縮し発生するものや温水の通水音によるものです。	●異常ではありません。
●床面の足触りが場所により違う	●温水配管接続部、温水配管部等、床面の足触りが部分的に周辺部分と異なることがあります。	●異常ではありません。
●床表面に凹凸や段差がある	●温水マットの2枚以上の併設時や床仕上げ材や床暖房マットと周辺合板の継ぎ合わせ部等には多少の凹凸があるため、光の照らし具合により目立つことがあります。	●異常ではありません。
●床仕上げ材の継ぎ目に隙間がある	●フローリングや畳などは天然材を使用しています。耐熱処理や含水率調整をした床暖房用のものを使用していますが、床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、わずかですが継ぎ目に隙間が生じてしまうことがあります。	●異常ではありません。
●床仕上げ材の変色	●床仕上げ材に直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが生じる可能性があります。	●カーテンやブラインドなどで遮るようにして下さい。

【異常時の処置】

(1) 万一ご使用中に異常な運転音、臭気に気づかれたら、速やかに運転を停止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡下さい。

(2) 地震、火災が発生したときには、速やかに運転を停止して下さい。

(3) 水漏れ等に気付いたら運転を停止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡下さい。

性能に関するご注意

はやわざ戸建住宅用
フローリング仕上げ
＜タイプⅢ＞

■温水式床暖房は、フローリングの下にある床暖房マットの温水パイプ内に温水を流すことによって床表面
暖めます。そのため温水マットが通っている部分とそれ以外の部分で、温度に差があります。

■住宅の構造や外気温の条件によっては、補助暖房が必要になる場合があります。

■床下に断熱材がない場合は、ある場合と比べてランニングコストや立ち上がり時間に差があります。

■フローリングは、木質材料を使用しておりますので床暖房使用により、多少の収縮があり部屋の周囲や製
間にスキや反り、歩いた際のきしみ音が発生することがありますのでご了承下さい。

■床暖房使用時に、「温水の流れる音」や熱による木材の乾燥収縮等から生じる「きしみ音等の床鳴り音
が発生する場合がありますのでご了承下さい。

■床暖房設置後に接着剤等による臭いがする場合がありますが、数日間経過すれば自然に消えます。
早急に対処する場合は換気を充分にして下さい。

■仕上げ材（ハードシリーズ）は、以下のような耐キャスター性能を想定しています。

想定使用状況：	室内使用の中で使用頻度が多いと思われるキャスター椅子を想定
キャスター：	キャスター椅子によく用いられるプラスチックキャスター（双輪、直径5cm、巾9mm）
荷重：	1輪あたりの荷重は20kgと想定 ※人が座った4輪のキャスター椅子（人と椅子の合計重量が80kgと想定）
荷重回数：	仕上げ材の同じ場所を35000回往復（9回／日×365日×10年）
評価方法：	仕上げ材の表面の凹みが0.2mm以下であり、破壊がないこと

家庭用を対象としており、業務用などの想定よりも過酷なご使用条件になる場合、仕上げ材表面の凹みが目立ったり、破損が生じるこ
がありますのでご了承下さい。

■仕上げ材（ハードシリーズ）に、キャスター製品をご使用いただく場合、以下の点にご注意下さい。

①仕上げ材（ハードシリーズ）は、上記のような想定で試験を行っていますが、若干の凹みが生じることがあり
す。

②プラスチックキャスターやゴムキャスターは使用可能ですが、ゴムキャスターを使用した場合ゴム跡が若干
ることがありますのでご了承下さい。

③金属製キャスター、直径の小さなキャスターや極端に細いキャスター等の部分的に大きな荷重がかかりや
いものはご使用になれません。

④仕上げ材の表面に砂など硬い異物があるとキャスター使用時に表面傷が発生し、耐キャスター性能が低
しますのでご注意下さい。

日常のお手入れ方法

■フローリングは、本質的に水気を嫌います。日常のお手入れには、化学雑巾か乾いた雑巾を使用して下さい。また化学雑巾は水濡れ箇所には絶対使用しないで下さい。床材表面が白化する場合があります。
尚、汚れがひどい場合には水を含ませた雑巾を固く絞り、拭き取り後乾拭きをして下さい。濡れ雑巾を頻繁にご使用になりますと、フローリングの表面にひび割れが生じる場合がありますのでご注意下さい。

■ワックスをご使用の場合は以下の事項に注意して下さい。（アートシリーズSUシリーズは、ワックス掛けが不要です。）

☆ワックスは絶対に床の上に直接流さずに、きれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞って床面に薄くムラ無く塗り広げて下さい。ワックスを直接流したりしずくが落ちるような布で塗ったりすると床材表面の美観を損ねることがあります。

☆室内の温度が5℃以下の時や、雨の日で湿度が極端に高いときは、床の表面が白っぽくなることがありますので、このようなときは、ワックスは使用しないで下さい。

☆床面が十分に乾燥している（水気がない）ことを確認してワックスを塗って下さい。

☆床用洗剤を使用するときは、洗剤分が床に残らないように拭き取ってからワックスを塗って下さい。また洗剤をフローリングに多量にまき散らすと製品の美観など品質を損なうことがありますので絶対にしないで下さい。

☆ワックス掛けの前後で化学雑巾は使用しないで下さい。床の表面が白っぽくなる原因となります。

☆ワックスは定期的に市販の水性樹脂ワックスを約3ヶ月に一度掛けることをお勧めします。なおワックスの種類によっては、滑りやすくなる場合がありますのでご注意下さい。

■ワックスについては以下のものをお勧めいたします

メーカー名	商品名
（株）リンレイ	オール・フローリングお手入れ用ワックス
コニシ（株）	ゴールドユカ・フロアパック
ジョンソン（株）	床ピカピカ
ペンギン（株）	ペンギンルックス

※ワックスの具体的使用方法については、ワックスメーカーの取扱説明書に従って下さい。

【故障と思ったら・こんな場合は故障ではありません】

こうのようなときには	説　明	処　置
床面がなかなか暖まらない。	・床面が暖まるには床仕上げ材の種類や外気温度、住宅構造等によって変化し、暖房感が得られるようになるには予熱時間が必要です。	・あらかじめリモコンでタイマー運転を設定してご使用ください。（リモコンの設定方法についてはリモコンの運転手順をご確認ください）
床温が上がらない。室温が上がらない。	・室温センサー付きの床暖房リモコンをお使いの方は、リモコンの近くにストーブ等高温になる機器を置かれますと、暖房性能が発揮できないことがあります。 ・リモコンに日ざしが直接あたる場合にも暖房性能が発揮できないことがあります。	・ストーブ等の暖房機器の位置を変更してください。 ・カーテンで遮へいしてご使用ください。
床面のあたたかさが場所によってちがう。	・温水床暖房はパイプ内に温水を循環させて床をあたためており、パイプのあるところとないところでは床面の温度に若干の差が生じます。	・異常ではありません
リモコンの温度設定を変えないのに床の温度が低くなった。	＜室温センサー付きの場合＞ ・室温が設定より高い場合には、床面温度を下げて室温調整をしています。	・リモコン設定を上げてください。
床暖房を使用中に音がする	・床暖房を使用すると、床面から音がする場合があります。これは、床暖房の熱によってパネル本体および床仕上げ材、床の構造体が膨張・収縮し発生するものや温水の通水音によるものです。	・異常ではありません
床面の足触りが場所によりちがう	・温水配管接続部や温水配管部等のため、床面の足触りが部分的に周辺部分と異なることがあります。	・異常ではありません
床表面に凹凸や段差がある	・温水パネルの2枚以上の併設時や床仕上げ材や床暖房パネルと周辺パネルの継ぎ合わせ部等には多少の凹凸があるため、光の照らし具合により目立つことがあります。	・異常ではありません
床仕上げ材の継ぎ目に隙間がある	・フローリングや畳などは天然材を使用しています。耐熱処理や含水率調整をした床暖房用のものを使用していますが、床暖房の熱やエアコンなどの暖房装置の連続使用による過乾燥で素材が収縮し、わずかですが継ぎ目に隙間が生じてしまうことがあります。	・異常ではありません
床仕上げ材の変色	・床仕上げ材に直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが避けられません。	・カーテンやブラインドなどで遮るようにしてください。

【異常時の処置】

万一ご使用中に異常な運転音、臭気に気ずかれたら、速やかに停止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
地震、火災が発生したときには、速やかに運転を停止してください。
水もれ等に気ずいたら運転を中止して、大阪ガスまたは大阪ガスサービスショップにご連絡ください。

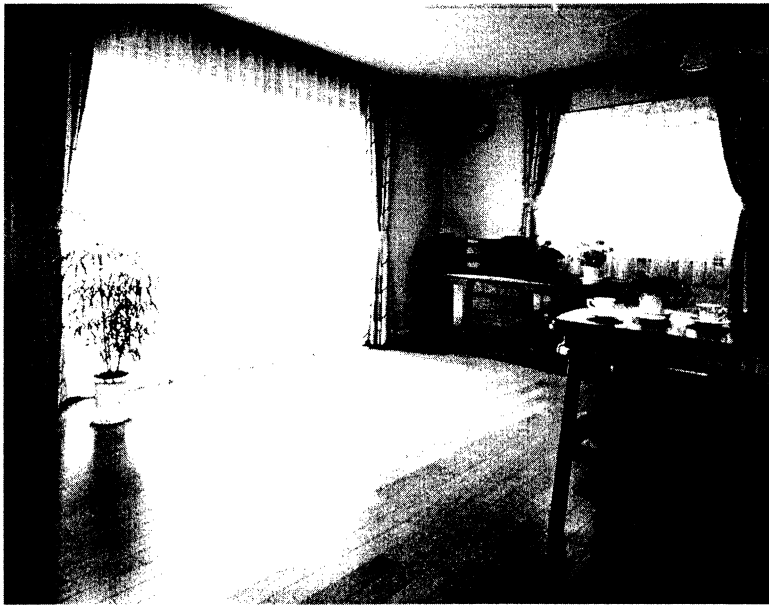
取扱説明書

ガス温水床暖房ヌック「はやわざ」

このたびは、弊社商品をご購入いただき、誠に有り難うございます。
ご使用の前に、本書を良くお読みの上、良い状態で末永くお使いください。
また本書中の安全に関する重要な内容については、必ずお守りください。

●

誤った取扱をされた時に、死亡や重傷など重大な結果に結びつく可能性が大きいものに「⚠警告」のマークを、状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があるものに「⚠注意」のマークを記載しております。
必ずご使用時にいつでも読むことができる所に保管をお願いいたします。



大阪ガス

性能に関するご注意

共通事項	■温水式床暖房は、フローリングの下にある床暖房パネルの温水パイプ内に温水を流すことによって床表面を暖めます。そのため温水パイプが通っている部分とそれ以外の部分で、温度に差があります。 ■住宅の構造や外気温の条件によっては、補助暖房が必要になる場合があります。 ■床下に断熱材がない場合は、ある場合と比べてランニングコストや立ち上がり時間に差があります。 ■フローリングは、木質材料を使用しておりますので床暖房使用により、多少の収縮があり部屋の周囲や製品間にスキや反りが発生することがありますのでご了承ください。 ■床暖房使用時に、「温水の流れる音」や熱による木材の乾燥収縮等から生じる「きしみ音等の床鳴り音」が発生する場合がありますのでご了承ください。 ■床暖房設置後に接着剤等による臭いがする場合がありますが、数日間経　過すれば自然に消えます。 ■仕上げ材（ハードシリーズ）は、以下のように耐キャスター性能を想定しています。 想定使用状況：室内使用の中で使用頻度が多いと思われるキャスター椅子を想定 キャスター　：キャスター椅子によく用いられるプラスチックキャスター（双輪、直径5cm、巾9mm） 荷　　重　：1輪あたりの荷重は20kgと想定。 ※人が座った4輪のキャスター椅子（人と椅子の合計重量が80kgと想定） 荷重回数　：仕上げ材の同じ場所を35000回往復。 ※8.5回/日×365日×10年＝31,025回/10年 評価方法　：仕上げ材の表面の凹みが0.2mm以下であり、破損がないこと。 想定よりも過酷なご使用条件になる場合、仕上げ材表面の凹みが目立ったり、破損が生じる場合がありますのでご了承ください。 ■仕上げ材（ハードシリーズ）に、キャスター製品をご使用いただく場合、以下の点にご注意ください。 ①仕上げ材（ハードシリーズ）は、上記のような想定で試験を行っていますが、若干の凹みが生じることがあります。 ②上記は一般的な住宅用途での想定であり、業務用途等（事務所、病院、食堂等）の過酷な使用条件になる場合、仕上げ材表面の凹みが目立ったり、破損が生じる場合がありますので、使用しないでください。 ③プラスチックキャスターやゴムキャスターは使用可能ですが、ゴムキャスターを使用した場合ゴム跡が若干残ることがありますのでご了承ください。 ④金属製キャスター、直径の小さなキャスターや極端に細いキャスター等の部分的に大きな荷重がかかりやすいものはご使用になれません。 ⑤仕上げ材の表面に砂など硬い異物があるとキャスター使用時に表面傷が発生し、耐キャスター性能が低下しますのでご注意ください。
はやわざ戸建住宅用（フローリング仕上げタイプⅡ） ・ はやわざ集合住宅用（フローリング仕上げタイプ）	■システムの構成上（温水マットのヘッダー部等）や下地の状態により、踏み感の異なる箇所がありますのでご了承下さい。
はやわざ集合住宅用（フローリング仕上げタイプ）	■下地の状態により、家具等を設置したときに傾くことがあります。 この場合は、転倒防止等の処置をして下さい。

安全に関するご注意

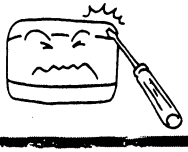
警告 この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされると、使用者が負傷する可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絶対に行わないでください

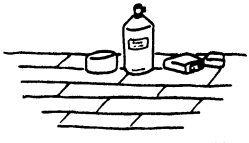
■床暖房中床面に長時間座ったり、寝そべると比較低い温度でも皮ふ障害を起こす危険があります。特に病人・高齢者・乳幼児・皮ふの弱い方などには、ご家族の方が十分にご注意ください。

■リモコンの取り付け・分解・修理は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼して行ってください。ご自分で取り付けや分解・修理をされ不備があると、発火したり、感電の恐れがあります。

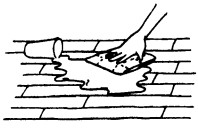


■リモコンを水洗いしたり、濡れた手で操作しないでください。
・感電の恐れがあります。
・故障の原因となります。
※リモコンをお掃除するときは、ベンジンや油脂系の洗剤は使用しないでください。変形する場合があります。乾いた布等で拭き取ってください。

■床暖房の上にスプレー缶やライター等を置かないでください。
・熱でスプレー缶内の圧力が上がり、破裂する恐れがあります。



■床に灯油、ベンジン、マニュキュア、アルコール、水、薬品、醤油、ペットの排泄物などをこぼさないでください。こぼした場合には床仕上げ材、床暖房パネルの変色など品質を損なう恐れがありますので、速やかに乾いた雑巾で拭き取ってください。

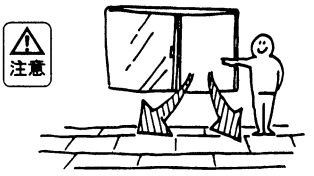


安全に関するご注意

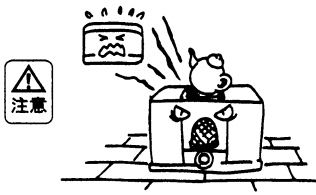
■床仕上げ材を張替える場合には、床仕上げ材メーカー指定工法で施工してください。詳しくは施工店にお問い合わせください。

■床下木材の防腐処理をされる場合、床暖房および配管類に処理剤が付着すると処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなることがありますので、付着させないようにしてください。

■閉め切ったお部屋では、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。接着剤や床仕上げ材が原因（ホルムアルデヒド）のひとつに考えられますので、窓を開放し換気を行ってください。（床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、床仕上げ材の施工店にご相談ください。）

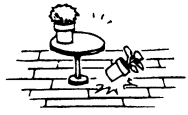


■コントローラの近くで他の暖房器具を使用しますと、熱により故障したりコントローラに内蔵された室温センサーが誤動作することがあります。また、直射日光が当たる場所にコントローラがある場合も同様の可能性がありますので、カーテン等で日光をさえぎってください。

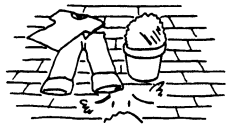


使用上のご注意

■床へは衝撃を加えないで下さい。
・床が破損し、水漏れの恐れがあります。

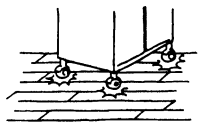


■暖房以外の特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存等）には使わないで下さい。



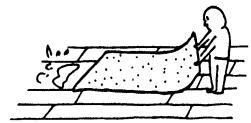
■暖房を設置している床に、突起物（釘・画びょう・きり・裁縫針・ダニ防虫剤の注射針・はさみ等）を刺したりしないでください。水漏れの原因になります。

■キャスター付きの椅子や家具および車椅子等の使用は避けてください。傷やへこみ、床鳴り等の原因となります。仕上げ材（ハードシリーズ）はご使用いただけますが、必ず1ページ「性能に関するご注意」をご覧になり、耐キャスター性能の範囲内で、ご使用ください。

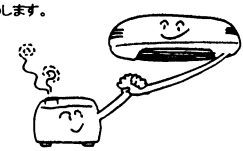


■机やイスを引きずるとフローリング表面に傷をつけることがあります。脚元にフェルトなどを付けて下さい。

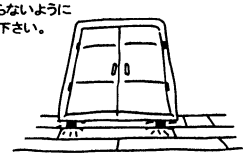
■床暖房のかかっている場所に、カーペット、ゴザ等の敷ものを敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、床仕上げ材がひび割れ、変形、収縮、変色等の不具合が生じることがあります。（ホットカーペットやこたつなどとの併用はしないで下さい。）



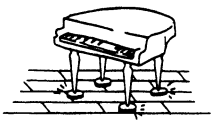
■エアコン等による暖房装置の連続使用により室内が過乾燥になり仕上げ材にスキやヒビワレが生じることがあります。乾燥を抑えるために加湿器の併用をおすすめします。



■床暖房の上に、調度品、家具などを直接置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生する恐れがあります。床表面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないように配慮して下さい。

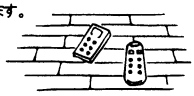


■ピアノなど重量物にはパッド等の緩衝材を敷いて集中した荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの恐れがあります。



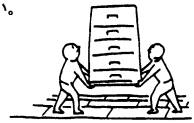
使用上のご注意

■エアコンやテレビ等のリモコンは長時間置かないで下さい。
・故障の原因になります。



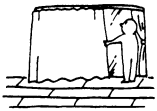
■クレヨン、絵の具等の落書きはシミにならないうちに家庭用ベンジン等で拭き取って下さい。

■重たい家具などを動かす場合には、引きずらずに必ず持ち上げて移動するようにしてください。また、椅子等を引きずりますと床仕上げ材に傷がつきます。床と接触する部分にフェルトなどを貼り付けて保護してください。

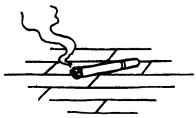


■毛染剤、家庭用パーマ液、靴墨などの汚染はとれません。使用するときは必ず床の上にカバーをして下さい。

■フローリングは直射日光に長時間さらされると日焼けによる変色が生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光をできるだけさえぎって下さい。

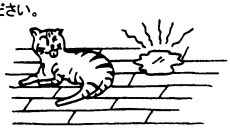


■火のついたタバコを落としたり、アイロンを倒すと表面が焼けこげ、火災の恐れがありますのでご注意下さい。また、こげ跡は一度つくととれません。タバコのヤニはアルコールを含ませた布で拭き取って下さい。（アートシリーズの場合は表面の化粧シートが熱で収縮します。）



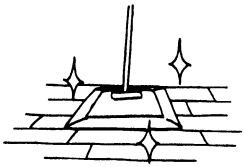
■植木鉢やプランターの下には必ず皿を敷いて、水がフローリングの上に流れないようにして下さい。水が流れるとフローリング表面に、変色やヒビワレが生じるおそれがあります。

■ペットの排泄物をそのまま放置しますと、水をこぼした場合以上に仕上げ材の美観など品質を損なうことがあります。直ちにかたく絞った雑巾できれいに拭き取ってください。



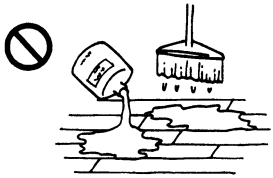
日常のお手入れ方法

■フローリングは、本質的に水気を嫌います。日常のお手入れには、化学雑巾か乾いた雑巾を使用してください。また化学雑巾は水濡れ箇所には絶対使用しないで下さい。床材表面が白化する場合があります。
また汚れがひどい場合には水をふくませた雑巾をかたく絞り、ふきとり後乾拭きして下さい。濡れ雑巾を頻繁にご使用になりますと、フローリングの表面にヒビワレが生じる場合がありますのでご注意ください。



■ワックスをご使用の場合は以下の事項に注意して下さい。(アートシリーズは、ワックス掛けが必要です。)

☆ワックスは絶対に床の上に直接流さずに、きれいな布に含ませ、しずくが落ちない程度に絞って床面に薄くムラ無く塗りひろげてください。ワックスを直接流したり、しずくが落ちるような布で塗ったりすると床材表面の美観を損ねることがあります。



☆室内の温度が5℃以下の時や、雨の日で湿度が極端に高いときは、床の表面が白っぽくなることがありますので、このようなときは、ワックスは使用しないで下さい。

☆床面が十分に乾燥している(水気がない)ことを確認してワックスを塗って下さい。

☆床用洗剤を使用するときは、洗剤分が床に残らいように拭き取ってからワックスを塗って下さい。また洗剤をフローリングに多量にまき散らすと製品の美観など品質を損なうことがありますので絶対にしないでください。

☆ワックス掛けの前後で化学雑巾は使用しないで下さい。床の表面が白っぽくなる原因となります。

☆ワックスは定期的に市販の水性樹脂ワックスを約3ヶ月に一度掛けることをおすすめします。なおワックスの種類によっては、滑りやくなる場合がありますのでご注意ください。

■ワックスについては以下のものをおすすめいたします。

メーカー名	商品名
㈱リンレイ	オール・フローリングお手入れ用ワックス
コニシ㈱	ゴールドユカ・フロアパック
ジョンソン㈱	床ピカピカ
ペンギン㈱	ペンギンルックス

※ワックスの具体的使用方法については、ワックスメーカーの取扱説明書にしたがって下さい